

なかまベースボールリーグ2026 試合規約

第1-2 条 (開催期間およびイニング・延長戦・試合進行)

- ・各予選試合 2月上旬～6月末日までを期限とする ★6月末にて予選日程終了
- ・予選の先攻後攻とベンチは予め試合日程表に記載

試合日程表の左が先行で3塁側、右が後攻（ホームチーム）の1塁側

- ・90分時間制の最大7回9人又は10人攻撃制 雨天の場合は4イニングで試合成立
- ・7回終了時もしくは90分終了時点で同点時は同点適用
- ・予選リーグは勝ち点制 勝・・・3点 負・・・0点 引き分け・・・1点（不戦勝3点、不戦敗-3点）
- ・不戦試合の場合は、3対0のスコアとする
- ・試合開始時刻を10分経過して9人が揃わない場合、試合放棄として相手チームの不戦勝とする

予選終了後はクライマックスへと移行する

- ・90分制の7イニングまで 予選1位、2位通過チームは初回の攻撃ノーアウト一、二塁スタート
試合時間を超えて同点時はじゃんけん

- ・優勝決定戦のみ7回制 7回終了時点1死満塁スタート最大9回、以降決着つかない場合はジャンケンに移る(最終回で出場していた9人で行う。10人攻撃の場合は9番まで)

第3条 (攻撃/DH制度)

- ・攻撃は9人又は10人攻撃可
- ・DHを許可する
9人又は10人攻撃のDH制を採用する
DH制の採用は、毎試合ごとにチームの自由選択とする
DHは試合前に選ばれ、相手チームと審判に提出するメンバー表に記載する
DHは試合途中で止めることはできない
DHへの代打は可能だが、DHから守備、守備からDHへの変更はできない。また、一度交代した選手は再度出場することはできない

第4条 (審判制度)

- ・基本、審判を1名派遣とする（審判料金は各チーム負担）
- ・審判への野次、暴言は厳禁とする。その場合は失格処分とする。

第5条 (助っ人)

- ・投手-捕手の助っ人は禁止、他助っ人に関して補強目的でなくあくまで人数不足により棄権の恐れがある場合のみ助っ人を許可する。投手または捕手にやむを得ず助っ人使用は、相手チーム+1点加点
バッテリーの場合は、相手チーム+2点加点
- ・なお最低5人は必ず自チーム登録選手である事、それ以下で助っ人が大半を占める場合刻当試合の試合消化は認めるが、試合結果問わず相手の勝利となる（努力消化を認め不戦敗はなし）
- ・助っ人使用の際は、まずリーグ内の選手に助っ人依頼すること（補強目的は禁止）
(リーグ内助っ人は成績（打率、打点、盗塁）反映する)

第6条（試合管理）

- ・ホームチーム（後攻チーム）が試合運びを先導する。結果報告を事務局に次の日までに必ず報告

第7条（試合記録/表彰）

- ・試合終了後、双方は事務局が指定したスコア表で記録した成績を確認する。確認後サインする
- ・各チームは、サインしたスコア表の写真をとり、翌日までに事務局に報告（メールのみ）
- ・表彰（賞状）はリーグ優勝、準優勝 とする

第8条（クライマックス）

- ・予選リーグ終了後クライマックス実施（別紙トーナメント表あり）
予選1位、2位通過チームは初回の攻撃はノーアウト一、二塁スタート